

# 2024年度（2025年3月期） 第3四半期決算 補足説明資料

**DNP**

未来のあたりまえをつくる。

2025年2月14日  
大日本印刷株式会社

# 【2024年度第3四半期決算概要】

(単位：億円) **DNP**

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減率 (差)	2024年度 業績予想	進捗率
売上高	10,612	10,790	+1.7%	14,550	74.2%
営業利益	520	626	+20.5%	800	78.4%
経常利益	682	797	+16.8%	1,000	79.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	985	1,160	+17.8%	900	129.0%

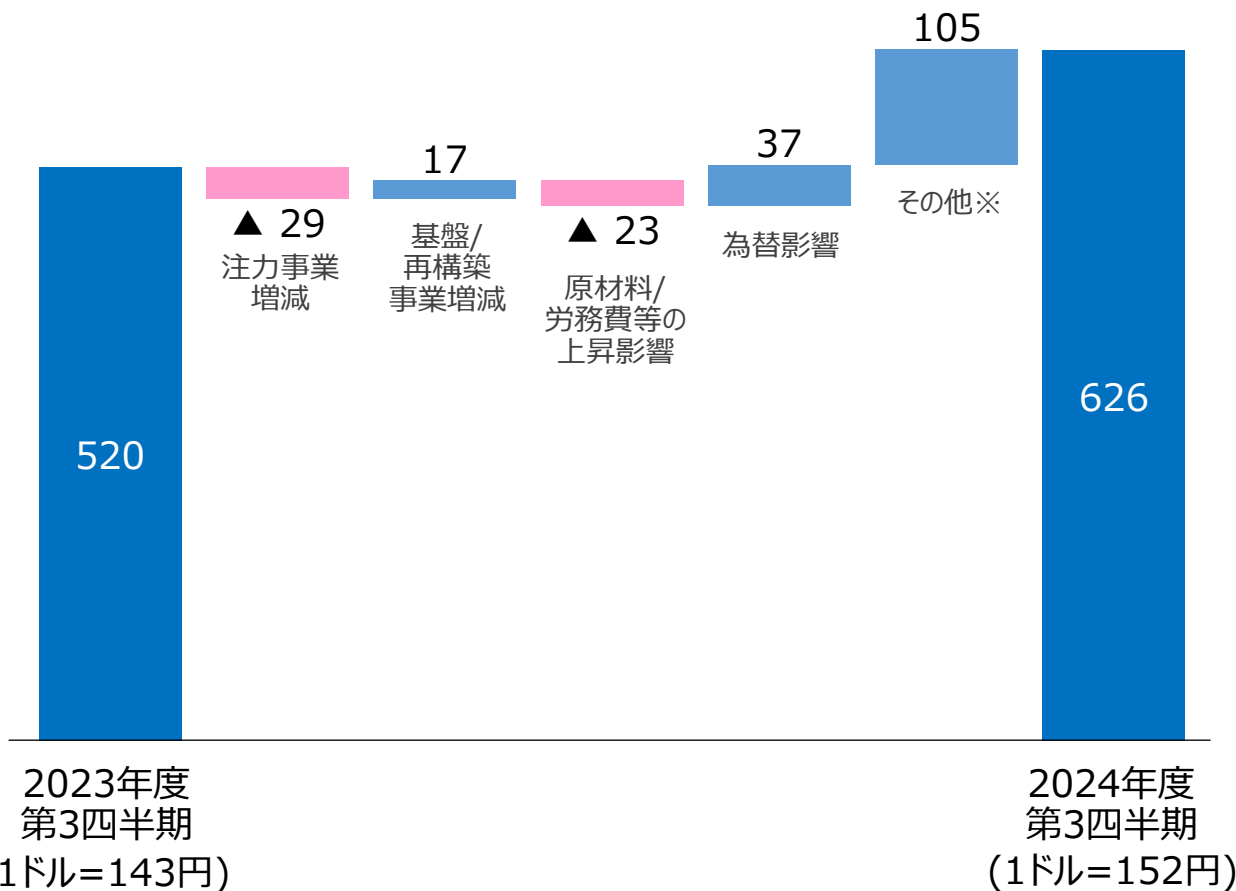
設備投資額	433	461	+6.4%	740	62.4%
研究開発費	264	286	+8.1%	360	79.5%
減価償却費	407	397	▲2.4%	560	71.0%

## 概況

- ✓ 注力事業領域を中心とした新しい価値の創出を加速し、売上高は前年から増加
- ✓ デジタルインターフェース関連や半導体関連が堅調に推移したほか、為替影響等も寄与し営業利益は前年から増加
- ✓ 持分法適用関連会社の業績が堅調に推移したほか、政策保有株式の売却益計上も寄与し、経常利益および四半期純利益も前年から増加

# 【2024年度第3四半期決算概要】営業利益増減要因

(単位：億円) **DNP**



## 概況

- ✓ 車載向けバッテリーパウチがEV需要停滞の影響を受けるも、太陽電池関連部材やデジタルインターフェース関連が増加
- ✓ 写真プリント用部材やICカードが堅調に推移した一方で、BPOが前年大型案件の反動により減少
- ✓ 包装関連、飲料関連は需要が好調だったことに加え、コストダウン活動が寄与

※ 退職給付費用の減少、セグメントに帰属しない調整額の増減等を含む

# 【2024年度第3四半期決算概要】注力事業・基盤事業の概況

(単位：億円) **DNP**

		2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	概況 (矢印は売上高の前年比)	
スマート コミュニケーション 部門	セグメント 売上高	5,321	5,223	↑	イメージング コミュニケーション関連 写真プリント用部材が欧米・アジア市場などを中心に好調に推移
	セグメント 営業利益	159	204	↓	情報セキュア関連 キャッシュレス化の進展によりデュアルインターフェイスカード※が伸長も、 B P Oは前年の大型案件の反動により減少
				↑	コンテンツ・XR コミュニケーション関連 日本発のコンテンツ市場の活況を背景に、 米国・ボストン近郊に海外2拠点目の「東京アニメセンター」を開設
ライフ& ヘルスケア 部門	セグメント 売上高	3,565	3,746	→	産業用高機能材関連 車載向けバッテリーパウチは市況停滞の影響を受けるも I T向けは伸長 二次電池外装材などを手掛けるレゾナック・パッケージング社の全株式を取得
	セグメント 営業利益	105	167	→	モビリティ関連 自動車の成形品を製造する光金属工業所の親会社である H Kホールディング社の全株式を取得
				↑	メディカル・ヘルスケア関連 創薬開発の支援に向けて韓国 N E X E L 社と 心筋細胞の培養に関する技術提携を進め、研究・開発を強化
エレクトロニクス 部門	セグメント 売上高	1,744	1,834	↑	光学フィルム テレビ用パネルの大型化にともなう出荷面積の拡大などにより伸長
				→	有機ELディスプレイ 製造用メタルマスク 前年大型需要の反動は受けるも、有機ELディスプレイの スマートフォン等への採用比率拡大は継続
	セグメント 営業利益	423	426	↑	半導体関連 市場回復に伴い半導体製造用フォトマスクが堅調に推移

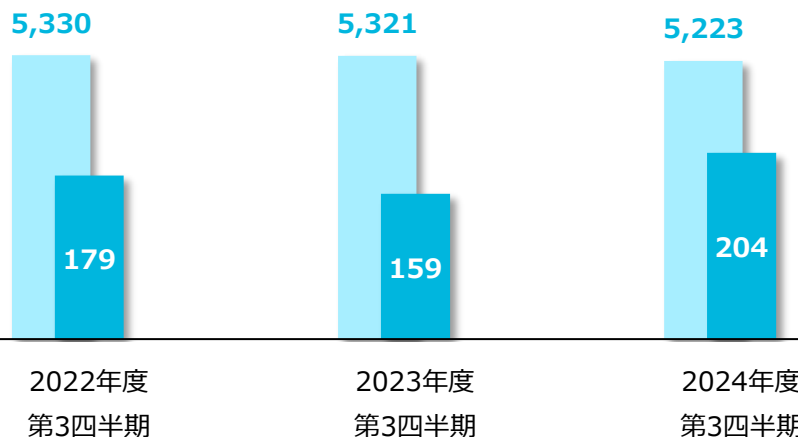
※ 1つの I C チップで接触型と非接触型の2つのインターフェイスを備えるカード

# 【2024年度第3四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

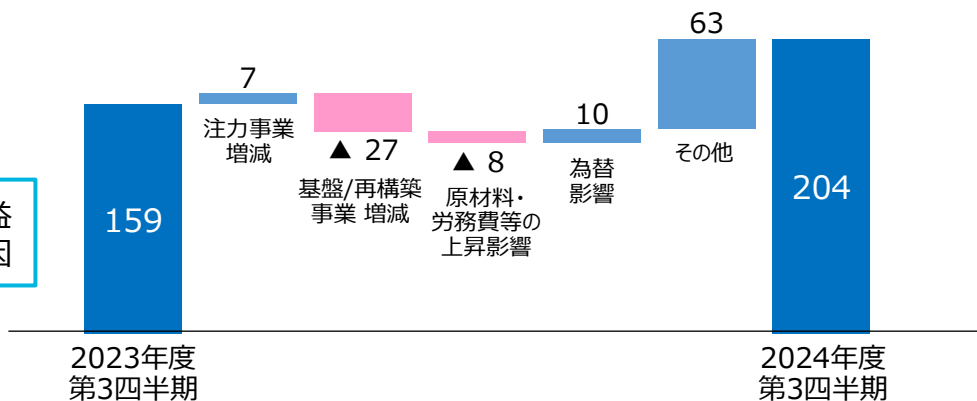
## スマートコミュニケーション部門

■ 売上高 (左) ■ 営業利益 (右)



業績推移

営業利益増減要因



### 概況

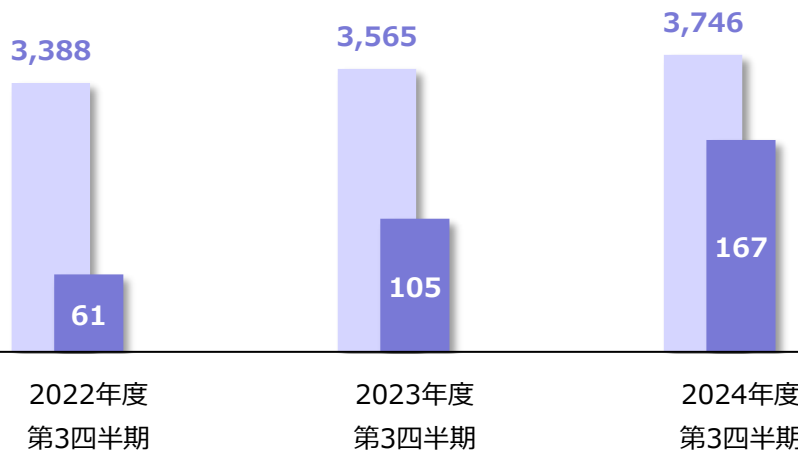
- ✓ 情報セキュア関連は、I Cカードが好調に推移するも、B P Oの前年大型案件の反動により減少
- ✓ イメージングコミュニケーション関連は写真プリント用部材が好調に推移したほか、国内の写真関連サービスが増加
- ✓ 雑誌や商業印刷等の紙媒体における市場環境の変化に対応するため、製造・販売一体の組織再編をはじめとする事業構造改革を推進

# 【2024年度第3四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

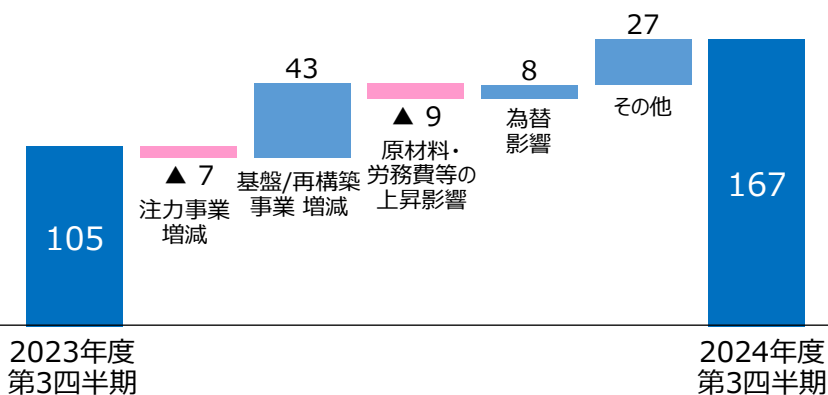
## ライフ&ヘルスケア部門

■ 売上高 (左) ■ 営業利益 (右)



業績推移

営業利益増減要因



### 概況

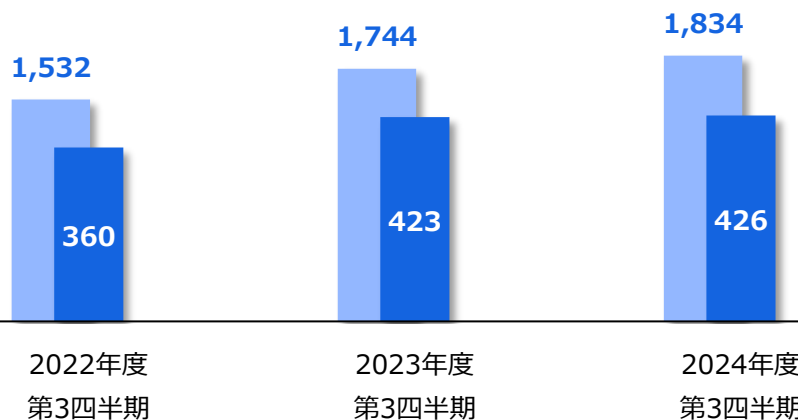
- ✓ IT向けバッテリーパウチがスマートフォンやタブレット端末などの新機種への採用拡大によって伸長したものの、車載向けがEV需要停滞の影響を受け減少
- ✓ 包装関連は、原材料の値上げ影響を受けるも、スナックや日用品関連の需要が好調だったことに加え、固定費圧縮等のコストダウン活動が寄与

# 【2024年度第3四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

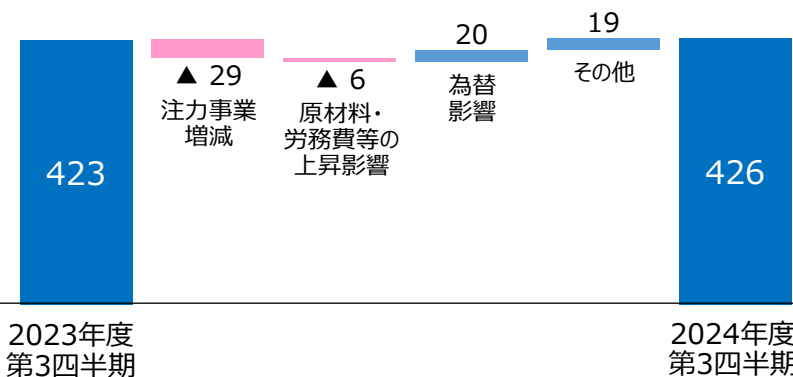
## エレクトロニクス部門

■売上高 (左) ■営業利益 (右)



業績推移

営業利益  
増減要因



## 概況

- ✓ 光学フィルムはテレビ用パネルの大型化を背景に拡大基調が継続
- ✓ 有機ELディスプレイ製造用メタルマスクは、生産ライン新設に伴い償却費負担が増加も、スマートフォン等への採用比率拡大は継続
- ✓ 半導体製造用フォトマスクは、半導体市場の回復を受け堅調に推移

# 2024年度業績予想（修正あり）

(単位：億円) **DNP**

【全社】	2023年度実績	2024年度業績予想	修正後	対前年増減率(差)
売上高	14,248	14,550	14,550	+2.1%
営業利益	754	800	880	+16.6%
営業利益率	5.3%	5.5%	6.0%	+0.7%
経常利益	987	1,000	1,100	+11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,109	900	1,060	▲4.4%
ROE	9.8%	8.0%	9.2%	▲0.6%
設備投資額	683	740	740	+8.2%
研究開発費	352	360	360	+2.2%
減価償却費	559	560	560	+0.0%

【セグメント別】		2023年度実績	2024年度業績予想	修正後	対前年増減率(差)
スマート コミュニケーション	売上高	7,194	7,200	7,120	▲1.0%
	営業利益	261	300	320	+22.3%
ライフ& ヘルスケア	売上高	4,723	5,000	5,000	+5.9%
	営業利益	133	180	230	+72.3%
エレクトロ ニクス	売上高	2,353	2,400	2,450	+4.1%
	営業利益	581	540	550	▲5.4%
調整	売上高	▲22	▲50	▲20	-
	営業利益	▲222	▲220	▲220	-
合計	売上高	14,248	14,550	14,550	+2.1%
	営業利益	754	800	880	+16.6%

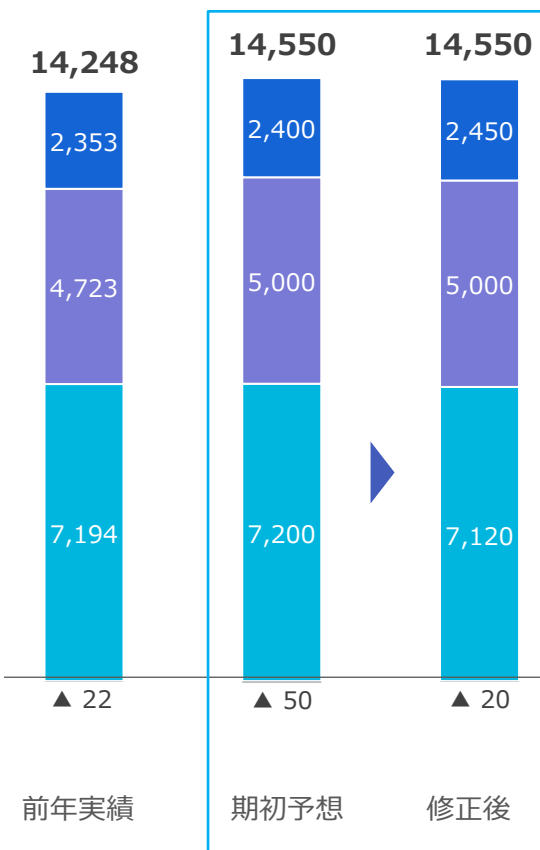


# 2024年度業績予想：期初予想との対比

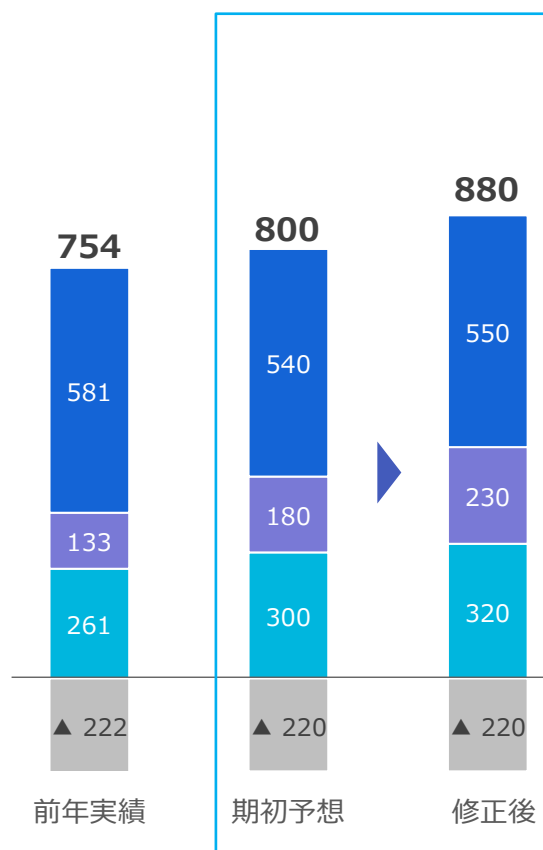
(単位：億円) **DNP**

- エレクトロニクス
- ライフ&ヘルスケア
- スマートコミュニケーション

## ■ 売上高



## ■ 営業利益



### エレクトロニクス

有機 E L ディスプレイのスマートフォン等への採用比率拡大やテレビのパネルサイズ大型化のトレンドは継続しているほか、為替による効果も寄与し売上利益とも期初予想を上回る見込み

### ライフ&ヘルスケア

足元の E V 需要の停滞から車載向けバッテリーパウチは期初予想を下回るも、太陽電池関連部材や包装関連が伸長したほか、コストダウン活動も寄与し営業利益は期初予想を上回る見込み

### スマートコミュニケーション

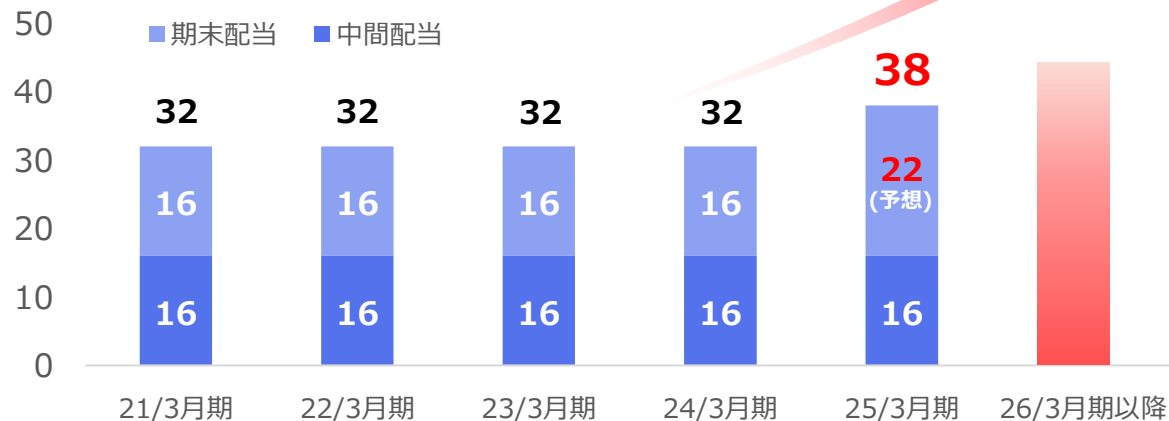
写真プリント用部材が好調に推移したほか、保有資産の最適化および固定費削減の効果を見込み、営業利益は期初予想を上回る見込み

# 2024年度配当予想の修正（増配）

## 持続的な利益成長の実現とともに、継続的な増配と配当水準向上に向けた検討を進める

- ✓ 2025年3月期の通期営業利益予想は880億円となり、中期経営計画最終年度の目標を**1年前倒し**で達成する見通し
- ✓ 業績予想の修正を踏まえて、配当水準を検討した結果、期末配当予想を**6円増配の22円**に修正する。それに伴い、**年間配当予想は38円**(株式分割の影響を考慮した金額)となる
- ✓ **自己株式取得**については、当初計画である3,000億円を**前倒し**で実行中であり、**ROE10%達成**に向けて、今後も株価や財務状況などを勘案しながら、**機動的かつ積極的に実施**する

(1株当たり配当※：円)



### 中期経営計画

#### 「EPSとDPSを意識した配当政策」

※EPS：1株当たり当期純利益、DPS：1株当たり配当

機動的かつ積極的な自己株式取得に加え、  
持続的な利益成長に伴う、  
**継続的な増配と配当水準向上に向けた  
検討を進める**

※2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。  
1株当たり配当については、2021年3月期の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

未来のあたりまえをつくる。

**DNP**

## 免責事項

本資料における業績予想及び中期的な経営目標等、将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの将来予想とは異なることがあることをご承知おきください。